

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
1	総務部 平和推進課	経法学部 教授 美甘 信吾	松本ユース平和ネットワーク事業	H28～	平和の連鎖を若者世代で途切れさせることなく、より一層広げていくために、若者が平和について考え、学習し、発信する機会を設ける。	・若者世代の平和意識を高めることができた。 ・地域全体の平和意識高揚に寄与することができた。		信州大学 (経法学部) 松本大学 (総合経営学部)	松本市	
2	総務部 職員課	経法学部 准教授 大江 裕幸	包括連携協定に基づく学生の実習受入れ及び職員派遣	H28～	包括連携協定に基づき、学生の実習受入れ及び本市職員を講師として派遣するもの	実習の成果報告を通じて、学生からの本市への施策提案等		信州大学 (経法学部)	松本市	
3	政策部 政策課	研究推進部 産学官地域連携課 主事 金井悠一郎	包括連携協定（信州大学・松本市連携協議会）	H17～	文化、産業、医療、教育、学術等の分野で相互に協力し、地域の発展と人材の育成に寄与することを目的に、包括連携協定を締結し、連携事項の円滑な推進を図るため、連携協議会を設置するもの	連携協議会の開催により、連携事業の実施状況、連携の効果及び課題を共有することができるとともに、今後の連携のあり方を確認することができる。		信州大学	松本市	
4	政策部 政策課	産学官連携・地域 総合戦略推進本部 准教授 林 靖人	連携コーディネーター制度	H28～	行政職員に大学連携コーディネーターを委嘱し、産学官連携事業等のプロデュース活動を活性化する制度として実施。年度始めに研修を実施し、大学の研究や教育シーズについて学び、一方で、地域のニーズ等を大学と共有するためのワークショップを実施する。	連携協定の実質化として、個人が連携窓口になって具体的なプロジェクト等のコーディネーター、プロデュースができる。	金融CDN制度	信州大学（産学官連携・地域総合戦略推進本部）	県内各自治体	

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
5	政策部 政策課	経法学部 教授 西村 直子	地域政策研究会（フューチャーデザイン）	H28～	環境、人口、社会保障等の持続可能性が論点となっている種々の社会問題の解決には、現代世代が持つ将来世代に対するエゴをコントロールすることが最大の核心となることを指摘した、最新のアプローチである。 この新たな手法をどのように実際の政策等に応用するかについて、松本市における実施を含めて、市職員と研究者が密接に連携して手法開発を行うプロジェクトである。	地域が抱える本質的な問題や複雑化した課題について、研究を進めていくことにより解決に向けた糸口を見つけていくことができる。	NPO法人 SCOP	信州大学	松本市	本プロジェクトは、「フューチャーデザイン」提唱者である西條辰義氏を中心として、高知工科大学、一橋大学、国立地球環境学研究所及び関係する研究者と密接に連携している。
6	政策部 まつもと暮らし応援課	キャリア教育・サポートセンター	松本市新卒Iターン定住化促進事業	H29～	松本地域の新卒学生によるI・Jターンを実現し、新たな人の流れの創出、地域の若者の社会増につなげるもの。 【連携内容】企業紹介セミナーの開催 など	学生に対し、松本地域での生活や仕事に関する情報提供の機会の提供が図られている。		信州大学(キャリア教育・サポートセンター)	松本市	
7	地域づくり部 地域づくり課	経法学部 教授 井上 信宏	地域づくりに係る松本大学、信州大学経法学部との連携協力に基づく調査・研究等事業 (松本市地域づくり研究連絡会)	H24～	「地域づくりに係る信州大学経法学部と松本市との連携協力に関する覚書」に基づき、松本大学を含めた三者による「松本市地域づくり研究連絡会」を設置し、地域づくりの推進に係る調査・研究、研修事業等を実施	地域が抱える本質的な問題や複雑化した地域課題の調査・研究等を通じて、中長期的視点にたった地域づくりの方向性が明らかになる。また、職員研修等を通じて人材育成が進む。		信州大学 (経法学部) 松本大学	松本市	

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
8	地域づくり部 地域づくり課	経法学部 教授 井上 信宏	地域づくり市民活動研究 集会事業 (未来へつなぐ私たちの まちづくりの集い)	H24～	市と大学が一体となってネット ワークを構築し、地域、大 学、行政、NPO、企業等の連 携による松本らしい地域づく りの推進に向けた事業を実施	地域が抱える本質的な 問題や複雑化した地域 課題を地域づくりの根 幹に関わる研究等を通 じて課題を紐解き、地 区の特色を生かした課 題解決に取組みが進 む。		信州大学 (経法学部) 松本大学	松本市 松本市教育委 員会	
9	地域づくり部 地域づくり課		新入生ガイダンスの開催	H27～	新入生に町会加入（町会活動 など）や交通災害共済への加 入を案内	地域活動を案内するこ とで若者の参画を促 す。		信州大学 松本大学	松本市	
10	文化スポーツ部 国際音楽祭推進課	人文学部 准教授 濱崎 友絵	セイジ・オザワ松本フェ スティバル	H27～	世界的指揮者小澤征爾氏率い るサイトウ・キネン・オーケ ストラによる国際音楽祭「セ イジ・オザワ 松本フェスティ バル」を開催するもの	「音楽とスポーツ都市 宣言」を掲げる松本市に とっての実践活動とし て、音楽文化と地域の 振興を図る。	セイコーエプソ ン(株) 信濃毎日新聞社 (株)八十二銀行 松本商工会議所 キッセイ薬品工 業(株) アルピコホール ディングス(株) (株)電通	信州大学	松本市 長野県	

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
11	健康福祉部 福祉計画課	医学部 特任教授 能勢 博	熟年体育大学 いきいき健康ひろば	H17～	健康寿命延伸都市「松本」の 特徴的事业として、科学的根 拠に基づく健康増進事業を推 進する。 本事業により、市民の生活 習慣病予防、介護予防、医療 費削減などを実現するだけで なく、ここで得られたデータ から多くの原著論文を作成 し、厚生労働省の運動指針や 国際標準として普及させる。	・参加市民約440名を対 象に、4月と10月に体力 測定を行って各人の目 標運動強度を設定し、 それを超える運動（速 歩）を週60分以上実施 する。具体的なトレー ニング方法「インター バル速歩（速歩とゆっ くり歩行の繰り返し）」により、無理な く速歩時間を増やすこ とを可能にしている。 ・活動拠点は地区福祉 ひろばで、運動データや 体力測定結果に基づく 指導、仲間作りのため の文化的カリキュラム、 バスハイクなど、地域 一体となった健康増進 活動を展開		信州大学（医 学部・医学系 研究科・バイ オメディカル 研究所） 松本大学	松本市	
12	こども部 こども福祉課	経法学部 准教授 赤川 理	こども法務実習事業	H30～	大学教員、学生、市職員によ る児童虐待通告対応ロールプ レイの実施	実習参加者の児童福祉 行政や関連法案に対す る理解を深める。		信州大学	松本市 長野県	
13	こども部 保育課	医学部衛生学 公衆衛生学教室 教授 野見山 哲生	保育園における花粉暴露 がアレルギー性鼻炎発症 に与える影響評価に関す る研究	H29～R 元	定員80名以上の公立保育園 の杉花粉量の採集調査およ び、平成29年度3歳児への アンケート調査（3年間の追 跡調査）を行い、花粉暴露と アレルギー性鼻炎発症の影響 について調査研究するもの	園の屋外生活で暴露す る杉花粉量と園児の杉 花粉症発症との関係が 調査でき、1次・2次 予防につなげることがで きる。		信州大学 医学部 衛生学公衆衛 生学教室	公立保育園 35園	松本市医師会 藁島 宗夫先生
14	農林部 耕地林務課	農学部 教授 泉山 茂之	ツキノワグマ学習 放獣事業	H20～	有害鳥獣駆除で錯誤捕獲さ れたツキノワグマを学習放獣 するもの	地域住民の安全確保 とツキノワグマの保護		信州大学	松本市	

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
15	農林部 西部農林課	学術研究院（農学系） 准教授 松島 憲一	特産品ブランド化推進事業	H28～	信州の伝統野菜である保平蕪、稲核菜、番所きゅうりの他、がに豆のブランド化のための調査、品質向上、品質評価に向けた系統選抜、栽培方法に対する指導等を行う。	信州の伝統野菜等の伝統的な特性を維持し、また商品開発により周知を図るとともに、ブランド力を高める。		信州大学	松本市	
16	商工観光部 商工課	学長 濱田 州博	国立大学法人信州大学への研修職員派遣	H16～	産学官連携に係る専門的な実務研修を経験することにより、産学官連携業務を担当する職員として必要な広い見識と高度な実務能力の育成を図り、もって、松本市の産学官連携業務の充実と発展に寄与する。	医療・健康分野をはじめとする産学官連携事業において、県内の大学等高等研究機関をはじめ、県内外の企業情報を入手し産学官連携の発展に活用されている。		信州大学 (産学官連携推進本部)	松本市	
17	商工観光部 商工課		松本ものづくり産業支援センター	H30～ (H21～)	新たな「松本市工業ビジョン」に基づき、工業活性化のための支援機関として設	企業課題の解決のために、産学共同事業への誘導、各種支援に活用	松本商工会議所 長野県テクノ財団アルプスハイランド地域センター	信州大学 (産学官連携推進本部)	松本市	
18	商工観光部 商工課	理事（研究、産学官・社会連携） 副学長 中村 宗一郎	松本地域産学官連絡会	H13～	産学官が一体となってネットワークを構築し、既存中小企業者や起業家等への効果的な支援を行う方策を研究するため設置	各種シンポジウム、研修会の開催をはじめ、展示会出展支援、研究会の設置など、中小企業者への支援を実施（信州大学から負担金の支出あり）	(一財)松本ものづくり産業支援センター (株)信州TLO (財)長野県テクノ財団アルプスハイランド地域センター 松本商工会議所 松本機械金属工業会	信州大学(産学官連携推進本部) 松本歯科大学 松本大学	松本市 長野県松本地域振興局商工観光課 長野県工業技術総合センター情報技術部門	

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
19	商工観光部 商工課	基盤研究支援センター 特任教授 菊池 孝信	信州メディカルシーズ育成拠点	H22～	・平成22年3月8日開設 ・平成23年6月メディカル機器47機器を共同利用開始	企業が通常手に入らないような検査機器を安価で貸し出し可能となり、企業の開発の速度が上がった。	社団法人長野県経営者協会 鍋林(株) キッセイ薬品工業(株)	信州大学 (産学官連携推進本部) 松本歯科大学	松本市 JST 長野県 長野県テクノ財団 長野県工業技術総合センター	
20	商工観光部 商工課	学術研究・産学官連携推進機構 リサーチアドミニストレーション室 副室長・教授 杉原 伸宏	信州メディカル産業振興会	H22～	・平成22年5月24日設立 ・現在までに数回の講演会、施設見学会等を開催 会員119（企業等72・大学等8・医療等3・行政等16・金融機関10・個人10）H31、4現在	メディカル分野へ参入を目指す企業を集めて情報交換、ニーズ発掘を行うことにより、既存機器の改良、新たな機器の創出が行われた。	鍋林(株) キッセイ薬品工業(株)他72社	信州大学 (産学官連携推進本部) 他8団体	松本市 他15団体	
21	商工観光部 労政課	なし	松本市ものづくり人材育成連絡会	H25～	連絡会の構成団体で連携をとりながら、地域産業の将来を担う若年者の育成や地元への就職、産業に必要な人材の確保など総合的に人材育成を支援する。	連絡会の各種事業を通じて、若年層のものづくりの関心が高まっている。 大学との連携関係では、昨年度大学が主体となって開催した学生と県内企業との交流会「大しごとーく2018」の周知を行い、連携を深めた。	長野県経営者協会 松本機械金属工業会 松本商工会議所 松本臨空工業団地管理組合 大久保工場公園団地管理組合 西南工場団地協議会 木工団地事業協同組合 松本地区雇用福祉協議会 松本職業安定協会	信州大学 松本大学 松本工業高校 エクセラン高校 松本市中学校 校長会	松本技術専門学校 ポリテクセンター松本 公共職業安定所 松本市	

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
22	商工観光部 山岳観光課	理学部 特任教授 鈴木 啓助	岳都・松本 「山岳フォーラム」	H23～	岳都である松本から、「山岳環境の保全」「安全な登山」「山の恵みの豊かさ」「自然を通じての健康増進」「次世代へ繋いでいく山岳文化」など、山の持つ魅力や価値、多様性について多くの方々と共有し未来へ繋げ残していくために、山岳フォーラムを開催するもの	1 国民の祝日「山の日」が制定 2 山岳地域が抱える課題を提起 (1) 登山者数や山岳エリアの観光入込者数の減少 (2) 山岳遭難事故が増加傾向 (3) 「山の日」の有効活用、「山の日」制定の意義についての周知		信州大学	松本市	【R元年度】 R2年3月14日-15日開催予定
23	商工観光部 健康産業・企業立地課	医学部 教授 野見山 哲生	健常者を対象としたサラシア摂取による便臭・便性に対する効果の検証	H30～	植物由来の成分摂取による便状態に対する作用を検証する。	検証中	富士フィルム株式会社	信州大学	松本市	
24	商工観光部 健康産業・企業立地課	医学部 教授 野見山 哲生	1～2歳児を対象としたラクトフェリン飲用調査	H29～	幼児の罹患リスクの低下、保護者の負担軽減のため、食品成分の摂取による感染予防効果を検証する。	検証中 (モニターが終了し、データの整理及び論文執筆中)	森永乳業株式会社	信州大学	松本市	
25	商工観光部 健康産業・企業立地課	医学部 准教授 田中 直樹	凍り豆腐の長期摂食による血糖・脂質・肝機能改善効果の検証	H29～	H b A 1 c が5.8以上6.5未満の方に対し、凍り豆腐の連日摂取によるH b A 1 c の減少効果を検証する。	検証中 (モニターが終了し、データの整理中)	旭松食品株式会社	信州大学	松本市	
26	建設部 交通安全・都市交通課	経法学部 教授 西村 直子	松本市を歩く速度で考えるワークショップ	H30～	無作為に抽出した市民が、現在および未来の視点から「歩行者中心の中心市街地への転換」について、情報提供を行ったうえで率直に討議する場を設けることで、現在施行中の「次世代交通政策実行計画」の推進方法の検討材料を得るもの	現行施策の改善及び次世代交通政策実行計画の後期計画策定時における重要な資料として活用	特定非営利活動法人SCO P	信州大学	松本市	

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
27	教育部 学校指導課	教職支援センター 小山 茂喜	教職科目「教職実践演習」外部講師	H25～	松本キャンパス教職課程（人文・理学）の学生が、教育実習を終えた4年次後期に履修する、必修科目「教職実践演習」を松本市教育委員会関係者とともに実施。現場で即戦力となる教員の育成・輩出に寄与している。	【H30実績】 人文学部 後期3コマ 理学部 後期3コマ		信州大学 (人文学部、理学部、教職支援センター)	松本市	
28	教育部 生涯学習課	教職支援センター 特任教授 桜井 達雄	子どもプレイパーク	H24～	子ども・若者が将来社会で自立し、より良く生きる力を育成するにあたり、地域で自ら考え行動する機会を充実させるため、子ども・若者が主体となってイベントの企画、運営を行うもの	【H30実績】 9月22日（土）、23日（日）にMウイングで実施。子どもプレイパークには、信州大学CS Tの皆さんを含む4つの団体及び公募スタッフがブースを設けて、約380名の親子が参加		信州大学 (教職支援センター)	松本市	
29	教育部 生涯学習課	キャリア教育・サポートセンター 特任講師 中西 弘充	松本若者会議	H31～	若者が社会で活躍できるように、まちづくりに参画する機会の創出と意識の向上を図るとともに、若者が積極的にまちづくりに取り組んでいくきっかけづくりを進める。	平成31年4月に、信大生と社会人が、松本の暮らしについて話し合う機会を設ける。		信州大学 (キャリア教育・サポートセンター)	松本市	
30	教育部 中央図書館	医学部附属病院 医療福祉支援センター	松本市中央図書館及び信州大学医学部附属病院患者図書室の連携事業	H21～	松本市図書館ネットワークシステムによる図書館業務の実施 入院患者、外来患者及び患者に関係する市民等の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。	・ネットワークシステムを利用した図書館資料の予約、予約資料の受渡し、返却業務に関すること ・市中央図書館が実施する団体用貸出文庫に関すること ・大学附属病院図書館が所蔵する資料に関すること		信州大学	松本市	30年度 貸出件数 19,413冊 利用人数 5,849人

現在（平成31年4月時点）、実施している連携事業

No.	松本市	信州大学	事業名	事業期間	事業概要	事業の効果	構成する機関			備考
	担当部・課	主担当教員					産	学	官	
31	教育部 中央図書館	図書館サービスグループ	信州大学附属図書館と松本市図書館との連携協力	H22～	図書館サービスの向上及び地域の学術・文化の発展に寄与	<ul style="list-style-type: none"> 貸出資料の連携サービス（相互返却） 相互貸借の活用 インターネットでの蔵書検索システムの相互リンク 図書館のイベントや職員研修などの合同実施 		信州大学 （附属図書館）	松本市	平成30年度 市→信大 貸借 28件 信大→市 貸借 12件 大学の本を市に返却 52冊 市の本を大学に返却 1,476冊
32	教育部 博物館		松本地域4大学新入生博物館パスポート	H25～	松本地域4大学の新入生を対象に、松本市立博物館をはじめとする21施設を無料または割引料金で利用できるパスポートを発行	学生が市内博物館施設を利用しやすくなるとともに、まるごと博物館構想の推進に寄与するもの		信州大学	松本市	
33	教育部 博物館	人文学部 教授 渡辺 匡一	企画展「松高人名録（その一）」	H31.3.2 ～5.6	令和元年、松本高等学校開校100年にあたり、旧制高等学校記念館と、信州大学日本文学分野、信州大学大学史資料センターの連携事業として、企画展を実施	松高出身著名人を紹介することで、松本高等学校の役割の重要性を伝えることができる。		信州大学人文学部日本文学分野 信州大学大学史資料センター	松本市	